



ラインアレイスピーカー

取扱説明書

SR-C8L

SR-C8S

SR-C15B

リギングフレーム

SR-RF8

リギングサポート金具

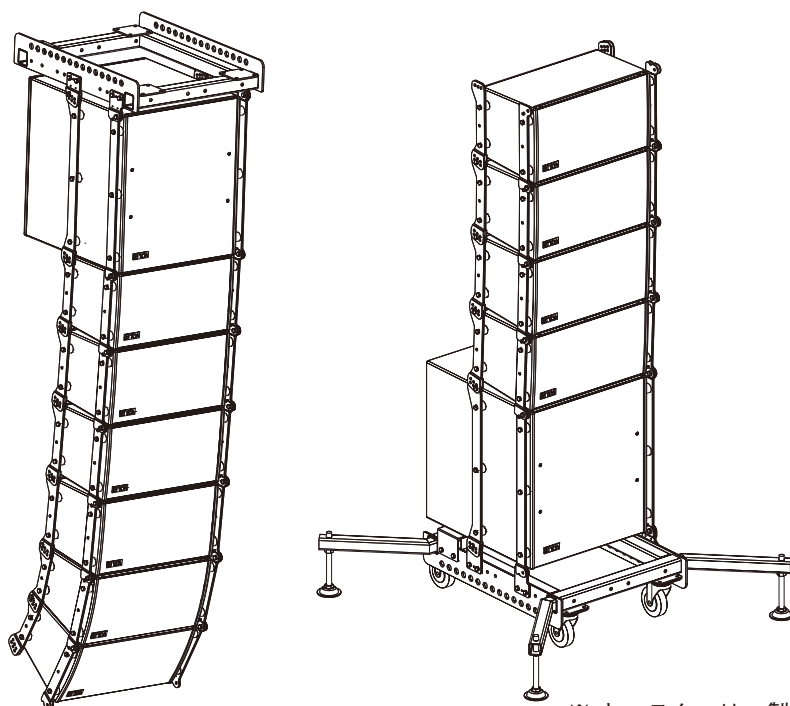
SR-SB8

チルトジョイント金具

SR-TP8

クラスター金具

SR-CL8



※ キャスターは、製品に含まれません。

このたびは、TOA ラインアレイスピーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

安全上のご注意	3
概 要	6
特 長	6
設置上のご注意	6
外観寸法図	
ハイボックス	
ラインアレイスピーカー SR-C8L	7
ラインアレイスピーカー SR-C8S	7
ローボックス	
ラインアレイスピーカー SR-C15B	8
金具類	
リギングフレーム SR-RF8	8
リギングサポート金具 SR-SB8	9
チルトジョイント金具 SR-TP8	9
クラスター金具 SR-CL8	9
バイアンプ駆動とシングルアンプ駆動	
バイアンプ駆動	10
シングルアンプ駆動	10
シングルアンプ駆動へ切り換える	11
デジタルプロセッサの設定	
SR-C8L、SR-C8S のシステム	12
SR-C8L、SR-C8S に SR-C15B を組み合わせたシステム	13
リギングフレーム SR-RF8 を使用したフライング設置	
フライングシステム概要	14
リギングフレーム SR-RF8 の組み立て	16
リギングフレームとスピーカーの連結	17
スピーカー間の連結	18
フライングについて	19
クラスター金具 SR-CL8 を使用したフライング設置	
フライングシステム概要	20
垂直方向にフライングする場合	20
水平方向にフライングする場合	22
スタッキングのしかた	
スタッキングシステム概要	24
リギングフレーム SR-RF8 の組み立て	25
リギングフレームとスピーカーの連結	26
スピーカー間の連結	26
スタッキングについて	27
リギングサポート金具 SR-SB8 を使用する場合	28
スピーカーを下振りする場合	30
仕 様	31

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号



禁 止

行為を強制する記号



強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁 止

工事は専門業者に依頼する

フライングの工事には、技術と経験が必要です。
技術や経験のない業者が工事を行うと、落下して、けがの原因となります。



強 制

フライング工事をするときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、吊り下げワイヤーやベルトが外れたり、切れたりして、スピーカーが落下し、けがの原因となります。

- 吊り下げワイヤー、ベルトなどが重量物に対して十分な強度があること。
- 吊り下げワイヤー、ベルト側の金具がスピーカー側の金具に確実に固定されていること。
- すべてのパーツ（エンクロージャ、金具、ねじ類など）に変形、亀裂、腐食などが発生していないこと。
- 取り付けのためのねじ類は、必ずフライング金具に付属のものを使用すること。



強 制

設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



強 制

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。

屋外に設置すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。
また、雨などがかかると、感電の原因となります。



禁 止

取り付けは2人以上で行う

1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となります。



強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

指定方法以外の取り付けかたをしない

指定の取付方法を守らないと、無理な力がかかり、落下して、けがの原因となります。



禁止

適切なボルト、ナット類を使用する

壁または天井の材質、構造に適したボルト、ナット類を使用してください。守らないと、落下して、けがの原因となります。



強制

各部のボルト、ナット類は確実に締め付ける

取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。



強制

組み合わせは指定のものを使用する

取付金具は指定のものを使用してください。指定以外の組み合わせで使用すると、落下して、けがの原因となります。



強制

常に振動する場所に取り付けない

振動で金具が破損し、落下して、けがの原因となります。



禁止

錆の発生しやすい場所に設置しない

換気の十分でないプールなどに設置しないでください。錆により部品が腐食し、落下して、けがの原因となります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

転倒・移動防止の処置をする

安定したところに据え付けてください。また、転倒・移動防止の処置をしてください。

守らないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。



強制

開梱や持ち運びは2人以上で行う

1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。



強制

本機を通路などに置かない

通路など、人が足を引っ掛ける可能性がある場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

金属のエッジで手をこすらない

強くこすると、けがの原因となることがあります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用するとき

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁 止

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

人をスピーカーに近づけない、寄りかかったりさせない

スピーカーに近づいたり、寄りかかったりするとリギングサポート金具につま
ずいたり、スピーカーが倒れたりしてけがの原因となることがあります。



強 制

定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。
スピーカーまたは取付金具類の破損や腐食などにより、落下して、けがの原因
となることがあります。



強 制

概 要

独自の波面制御技術を採用し、明瞭度の高い均一音場が実現できるラインアレイスピーカーです。
垂直指向角が5度と15度のタイプと、サブウーハーがラインナップされています。
また別売金具を使用することにより、固定音響設備として多くのアプリケーションに対応できます。

特 長

- TOA 独自の波面制御技術を採用していますので、高音域まで干渉のない均一音場を可能にし、高い明瞭性と遠達性に優れた音響特性を実現しています。
- ラインアレイスピーカー SR-C8L は、高出力 20 cm ウーハーとコンプレッションドライバーを2機搭載した2ウェイスピーカーシステムで、垂直5度水平110度の指向角を持ち、遠距離用に適しています。
バイアンプ駆動またはシングルアンプ駆動が可能です。
- ラインアレイスピーカー SR-C8S は、高出力 20 cm ウーハーとコンプレッションドライバーを2機搭載した2ウェイスピーカーシステムで、垂直15度水平110度の指向角を持ち、近距離用に適しています。
バイアンプ駆動またはシングルアンプ駆動が可能です。
- 遠距離用の SR-C8L と近距離用の SR-C8S を組み合わせることにより、さまざまなシーンに対応できるラインアレイスピーカーシステムを構築できます。
- サブウーハー SR-C15B は、大口径 38 cm ウーハーユニットを採用した高耐入力仕様で、ラインアレイスピーカー SR-C8L、SR-C8S と組み合わせて使用します。
- メンテナンス作業がスピーカー後面から行えるように考慮されています。
- ラインアレイスピーカーは連結時にスピーカー間で0度から5度まで1度間隔でオーバーラップアングルを設定できますので、柔軟に指向性をコントロールできます。
- リギングフレーム SR-RF8 を用いてラインアレイスピーカーをフライングまたはスタッキングすることができます。

設置上のご注意

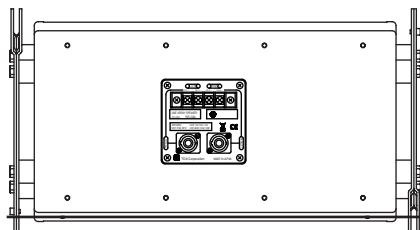
このスピーカーシステムは屋内専用機種です。必ず屋内に設置してください。
また、屋内プールなどの高温多湿な場所には設置しないでください。
機器故障の原因となります。

外観寸法図

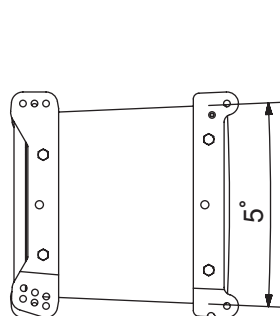
■ ハイボックス

● ラインアレイスピーカー SR-C8L

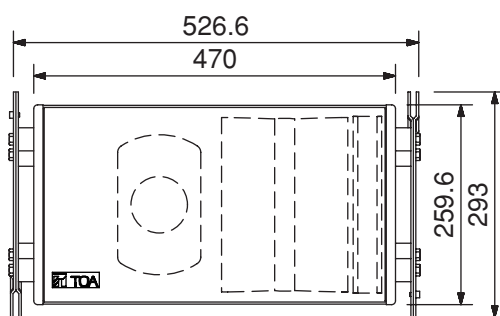
単位：mm



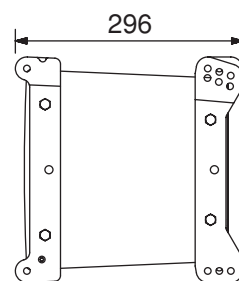
(背面図)



(左側面図)



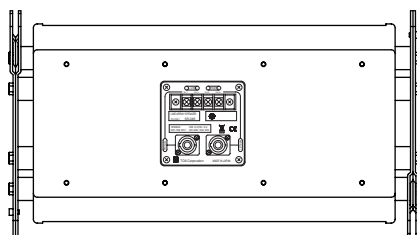
(正面図)



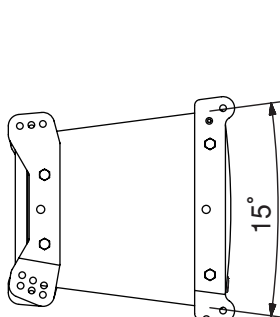
(右側面図)

● ラインアレイスピーカー SR-C8S

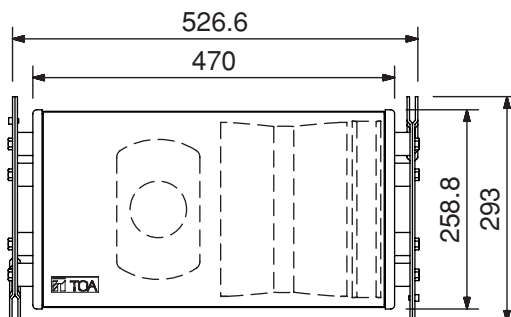
単位：mm



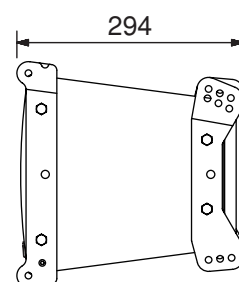
(背面図)



(左側面図)



(正面図)

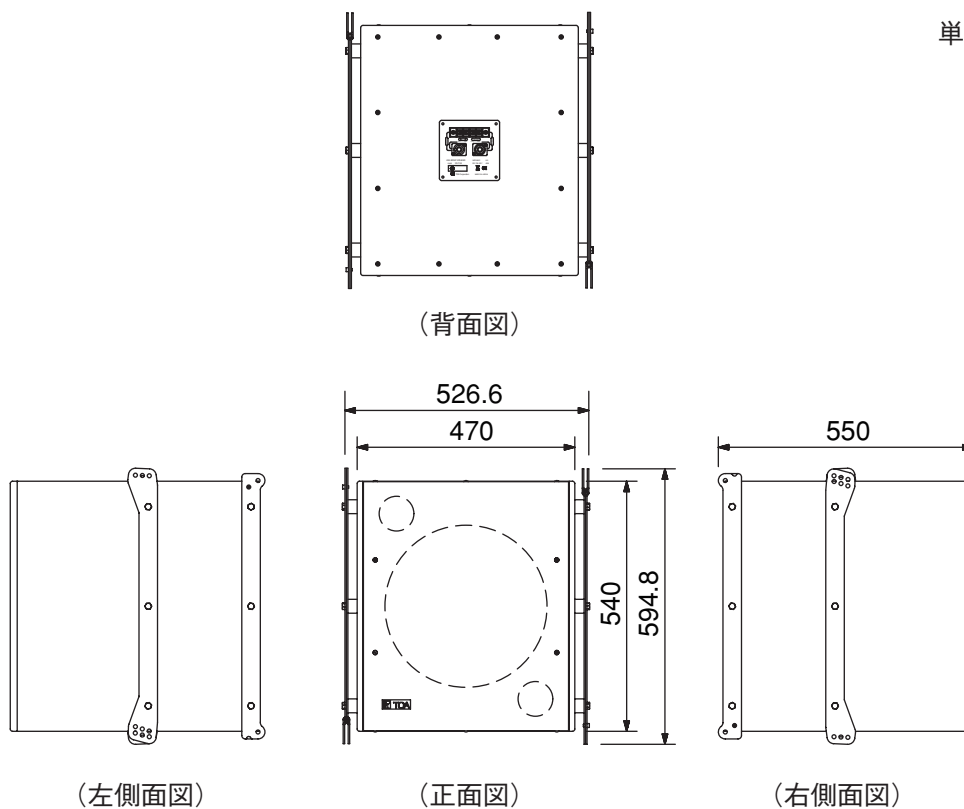


(右側面図)

■ ローボックス

● ラインアレイスピーカー SR-C15B

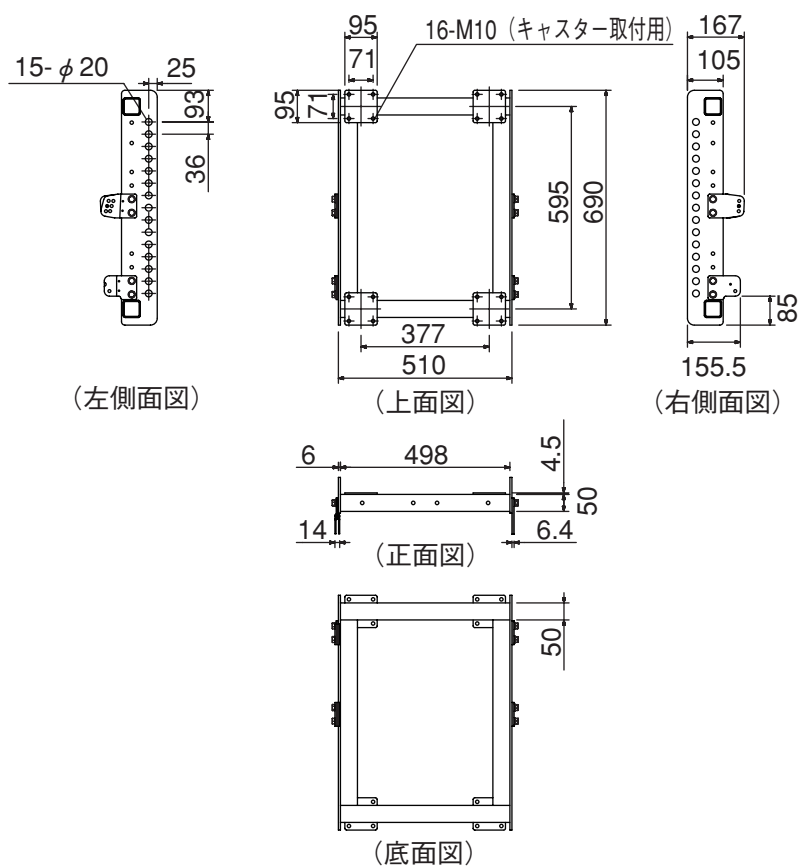
単位：mm



■ 金具類

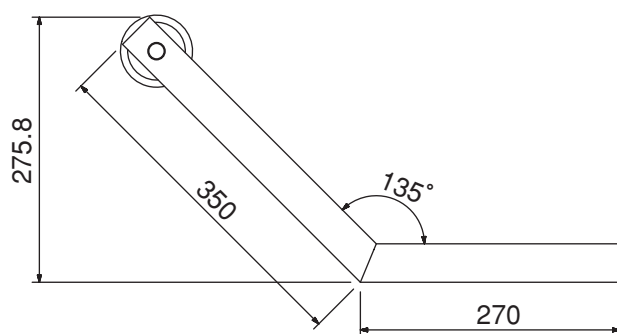
● リギングフレーム SR-RF8

単位：mm

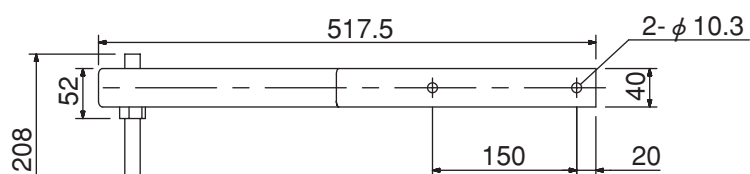


● リギングサポート金具 SR-SB8

単位：mm



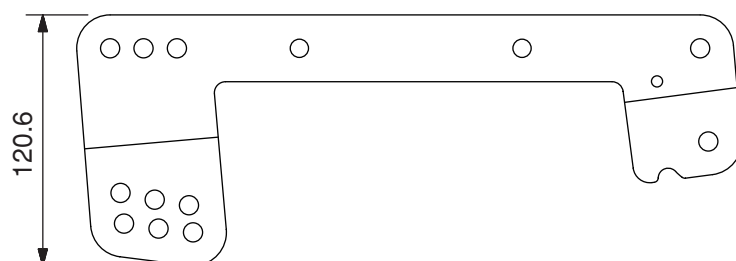
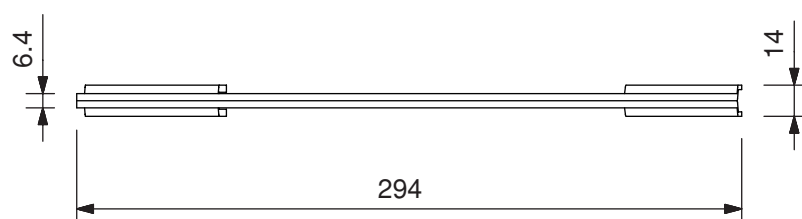
(上面図)



(正面図)

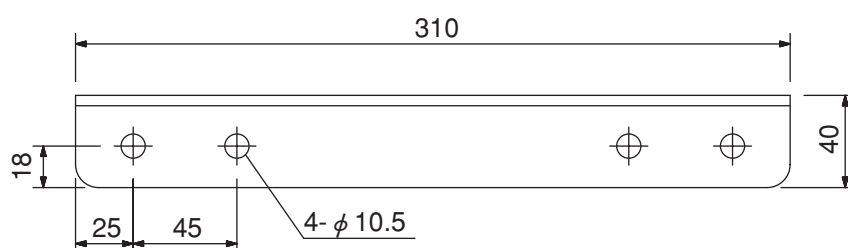
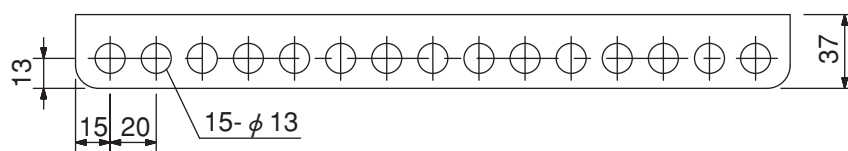
● チルトジョイント金具 SR-TP8

単位：mm



● クラスター金具 SR-CL8

単位：mm



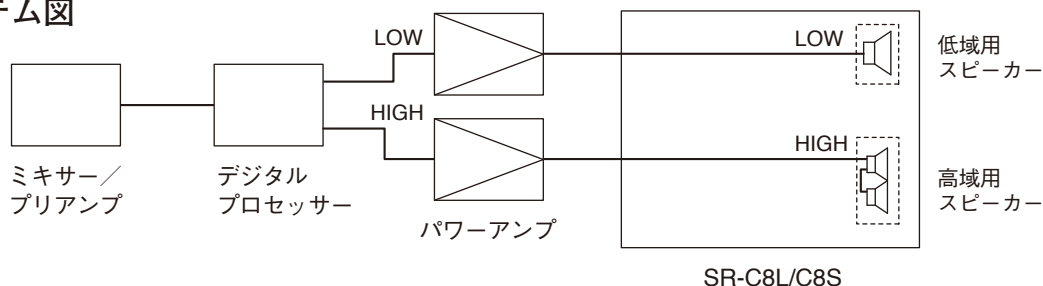
バイアンプ駆動とシングルアンプ駆動

SR-C8 シリーズスピーカーは、工場出荷時はバイアンプ駆動の状態になっていますが、内部コネクタを差し替えることでシングルアンプ駆動に切り換えることができます。

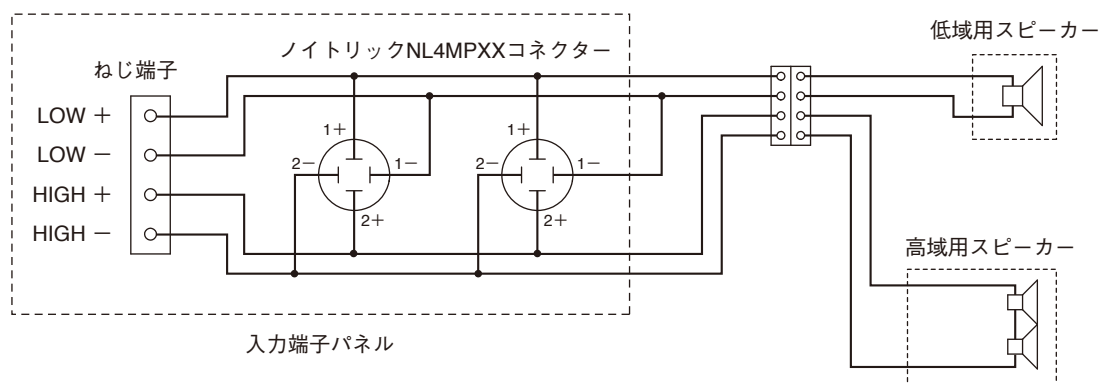
(P. 11 「シングルアンプ駆動へ切り換える」)

■ バイアンプ駆動

● システム図

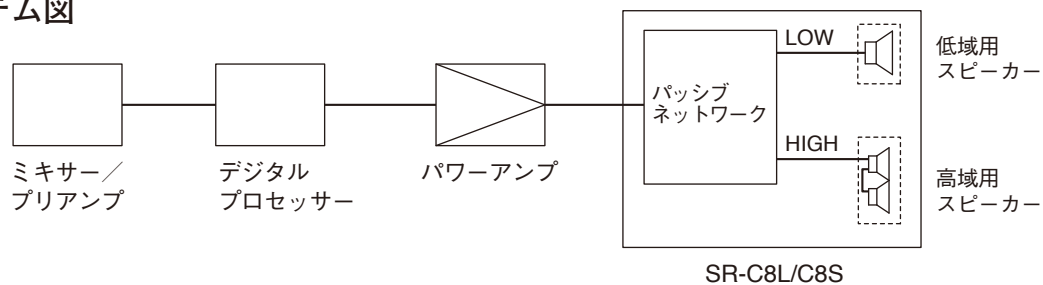


● 内部結線図

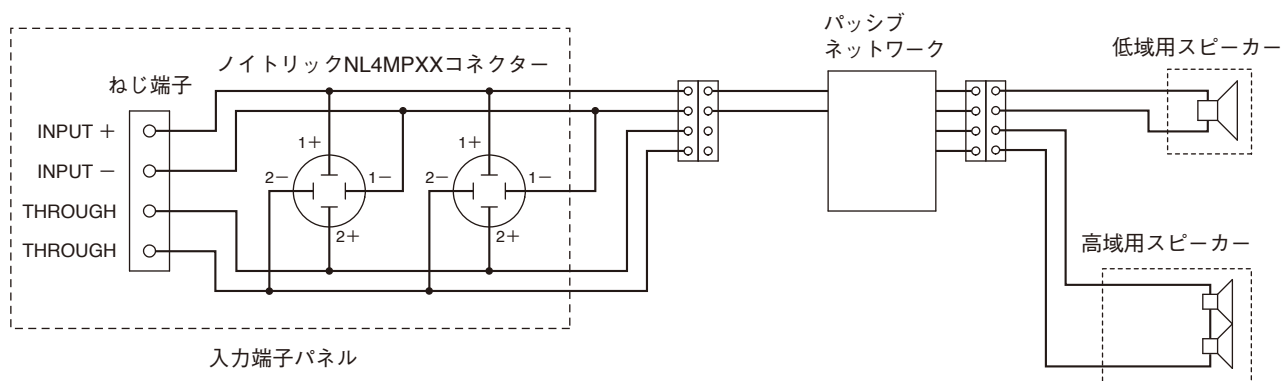


■ シングルアンプ駆動

● システム図



● 内部結線図



シングルアンプ駆動へ切り換える

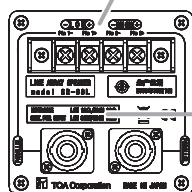
スピーカー後面の入力パネルを外し、内部配線を変更することで、シングルアンプ駆動に切り換えることができます。

● 切り換えかた

- 1** パネル取り付けねじ4本を外し、入力端子パネルを取り外す。
- 2** 入力端子パネルの裏側に接続されている配線を少し引き出す。
- 3** 接続されている2組のコネクターを外し、シール付きのコネクターどうし、シールなしのコネクターどうしに差し換える。
- 4** 入力端子パネルを元どおりに4本のねじで取り付ける。
- 5** 付属のシールを入力端子パネルに貼り、表示を変更する。

5 入力端子パネルの表示変更

シングルアンプ用入力表示シール（付属品）



シングルアンプ用
定格シール（付属品）

パネル取付ねじ

1、4

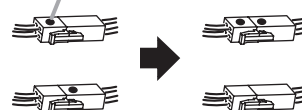
入力端子パネル

2

3

コネクターの切り換え

シール



デジタルプロセッサの設定

デジタルプロセッサのパラメーターを下記のように設定してください。

■ SR-C8L、SR-C8S のシステム

● バイアンプ駆動

チャンネル	Gain (dB)	Polarity 極性	フィルター				Delay (msec)
			TYPE	Freq. (Hz)	Gain (dB)	Q	
前段Filter	---	---	PEQ	1.6k	-4.0	1.414	---
SR-C8 LOW	0	Normal (正)	LPF (12dB)	2.0k	---	0.707	0.667
			HPF (12dB)	60	---	1.000	
			PEQ	800	-5.0	3.450	
SR-C8 HIGH	-9.0	Normal (正)	HPF (12dB)	2.0k	---	0.707	0
			PEQ	1.45k	-6.0	4.318	
			PEQ	2.9k	-10.0	2.997	
			High Shelving	10k	+7.0	---	
			All Pass	4.5k	---	2.016	
			All Pass	7.6k	---	2.016	
			All Pass	11.5k	---	2.215	
			All Pass	12.0k	---	2.016	
			All Pass	14.0k	---	1.512	
			All Pass	17.0k	---	4.938	

※Gainは目安であり、システム構成により調整が必要になります。

● シングルアンプ駆動

チャンネル	Gain (dB)	Polarity 極性	フィルター				Delay (msec)
			TYPE	Freq. (Hz)	Gain (dB)	Q	
SR-C8	0	Normal (正)	HPF (12 dB)	60	---	1.000	---
			PEQ	280	-3.5	4.318	
			PEQ	800	-2.0	3.450	
			PEQ	2.5k	-11.5	1.044	
			PEQ	2.65k	-5.0	2.145	
			PEQ	5.3k	-2.5	1.204	
			PEQ	9.0k	-6.0	1.707	

■ SR-C8L、SR-C8S に SR-C15B を組み合わせたシステム

● バイアンプ駆動

チャンネル	Gain (dB)	Polarity 極性	フィルター				Delay (msec)
			TYPE	Freq. (Hz)	Gain (dB)	Q	
前段Filter	--	---	PEQ	1.6k	-4.0	1.414	---
SR-C15B	+6.0	Normal (正)	HPF (12dB)	35	---	2.053	1.896
			LPF (6dB)	50	---	---	
			LPF (12dB)	100	---	1.432	
			PEQ	60	+3.0	2.648	
SR-C8 LOW	0	Normal (正)	LPF (12dB)	2.0k	---	0.707	0.667
			HPF (12dB)	100	---	1.000	
			PEQ	800	-5.0	3.450	
SR-C8 HIGH	-9.0	Normal (正)	HPF (12dB)	2.0k	---	0.707	0
			PEQ	1.45k	-6.0	4.318	
			PEQ	2.9k	-10.0	2.997	
			High Shelving	10k	+7.0	---	
			All Pass	4.5k	---	2.016	
			All Pass	7.6k	---	2.016	
			All Pass	11.5k	---	2.215	
			All Pass	12.0k	---	2.016	
			All Pass	14.0k	---	1.512	
			All Pass	17.0k	---	4.938	

※Gainは目安であり、システム構成により調整が必要になります。

● シングルアンプ駆動

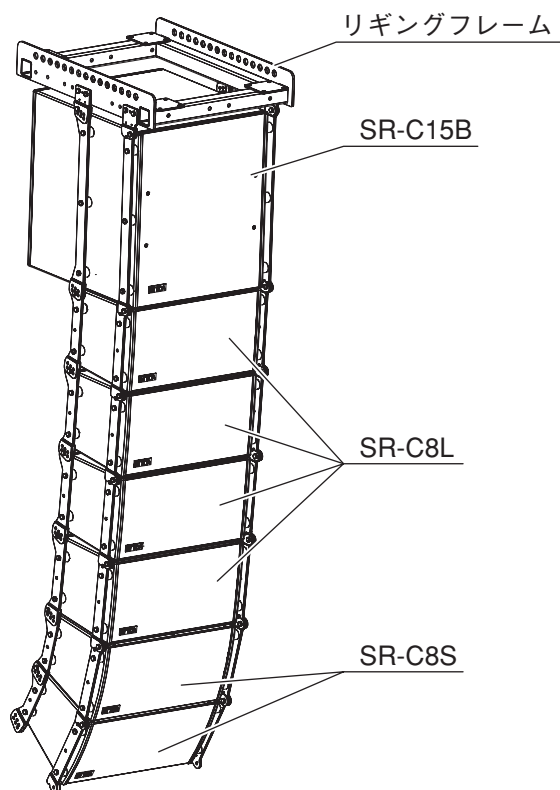
チャンネル	Gain (dB)	Polarity 極性	フィルター				Delay (msec)
			TYPE	Freq. (Hz)	Gain (dB)	Q	
SR-C15B	+6.0	Normal (正)	HPF (12dB)	35	---	2.053	1.229
			LPF (6dB)	50	---	---	
			LPF (12dB)	100	---	1.432	
			PEQ	60	+3.0	2.648	
SR-C8	0	Normal (正)	HPF (12dB)	100	---	1.000	0
			PEQ	280	-3.5	4.318	
			PEQ	800	-2.0	3.450	
			PEQ	2.5k	-11.5	1.044	
			PEQ	2.65k	-5.0	2.145	
			PEQ	5.3k	-2.5	1.204	
			PEQ	9.0k	-6.0	1.707	

※Gainは目安であり、システム構成により調整が必要になります。

リギングフレーム SR-RF8 を使用したフライング設置

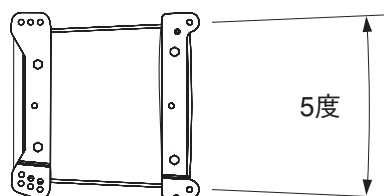
1 フライングシステム概要

リギングフレーム SR-RF8 を使用したフライングシステムです。
このリギングフレームでラインアレイスピーカーを最大 12 台まで連結できます。
ただし、サブウーハー SR-C15B は 2 台として計算します。
設置環境に合わせて、垂直指向角を調整してください。
遠達性が必要な場合は、遠距離タイプ SR-C8L を連結して使用してください。
基本的なフライングシステムを下記に示します。

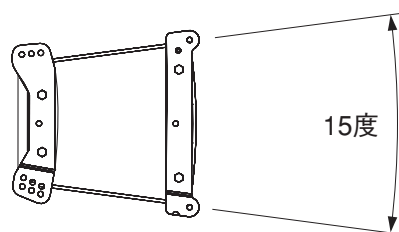


ラインアレイスピーカーの垂直指向角度は SR-C8L が 5 度、SR-C8S が 15 度です。

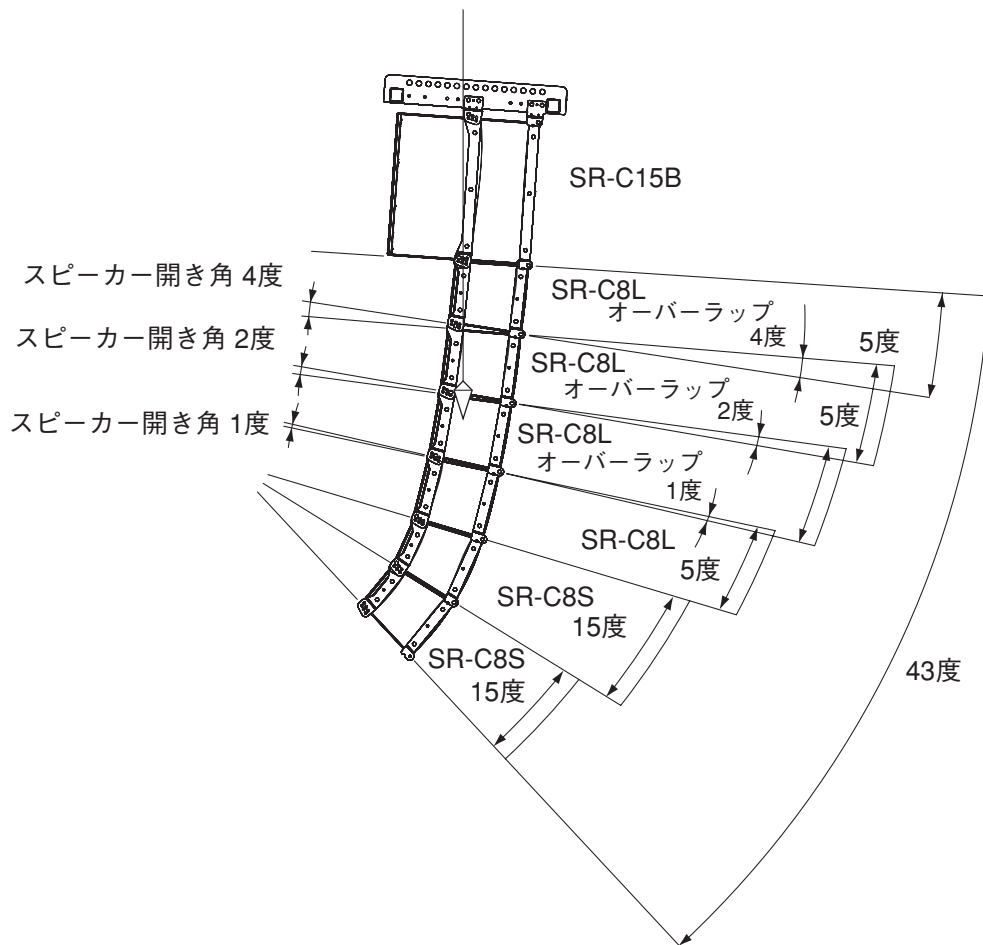
[SR-C8L]



[SR-C8S]



このフライングシステムはSR-C8Lを4台、SR-C8Sを2台、SR-C15Bを1台組み合わせています。
 遠達性を高めるために4台のSR-C8Lの連結にそれぞれ4度、2度、1度のオーバーラップアングルを持たせています。その結果垂直指向角は43度となります。
 スピーカーの連結方法によりオーバーラップアングルの設定ができます。
 水平指向角は110度です。



図のように、オーバーラップアングルは、スピーカー間の後部開き角度と等しい値になります。

例：音の放射のオーバーラップアングルを5度に調整するには、スピーカー間の後部の開き角度を5度に調整します。

スピーカー間を空けずに連結した場合は、音の放射のオーバーラップはありません。

オーバーラップアングルの設定は「4 スピーカー間の連結」を参照してください。(P. 18)

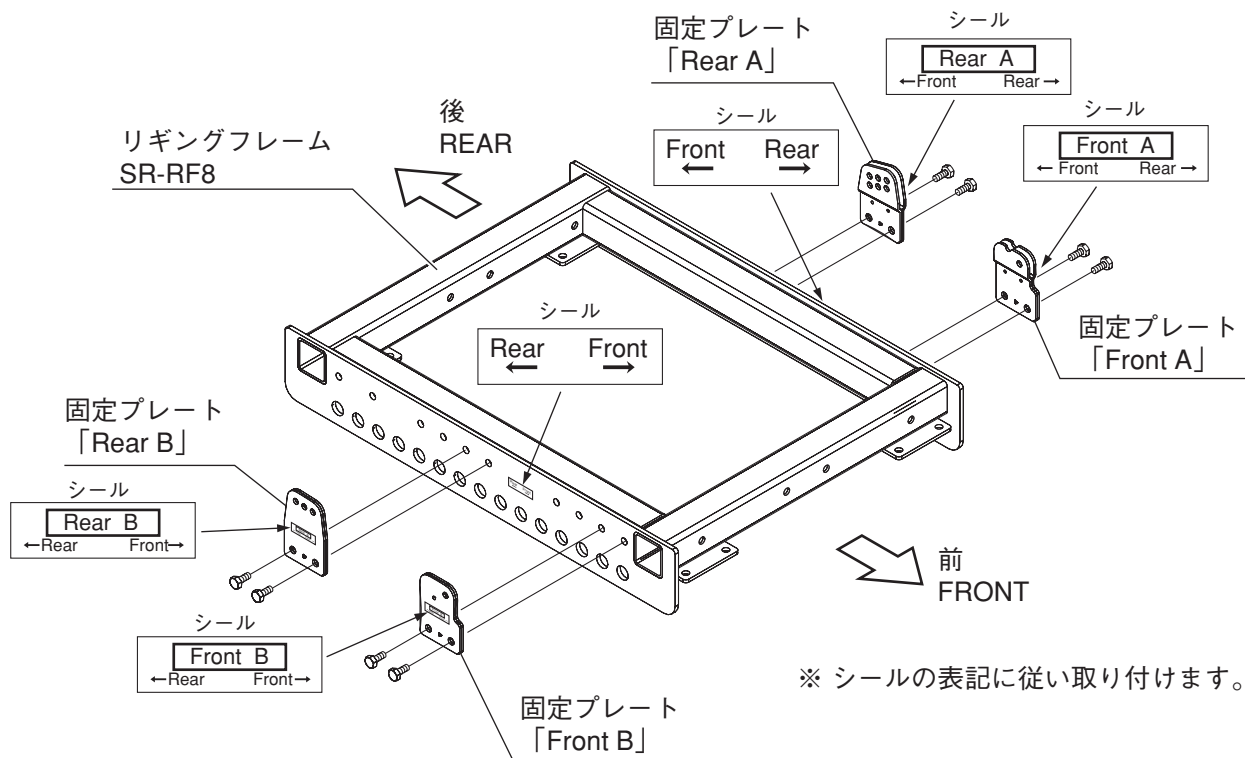
2 リギングフレーム SR-RF8 の組み立て

下図を参考にリギングフレームを組み立てます。

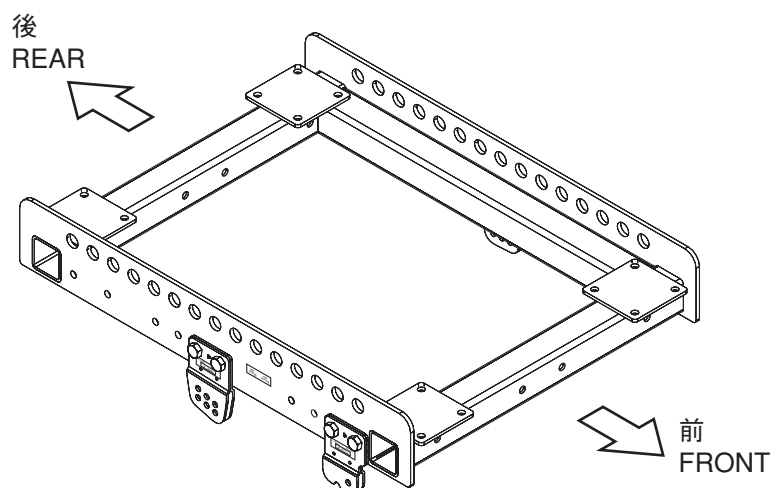
固定プレートはそれぞれリギングフレーム付属のボルト2本（平座金、ばね座金を含む）で確実に固定してください。

固定プレートには設置位置・設置方向があるので、図を参考に組み立ててください。

フライングの場合は必ず前取付穴を使います。



[組立完了図]



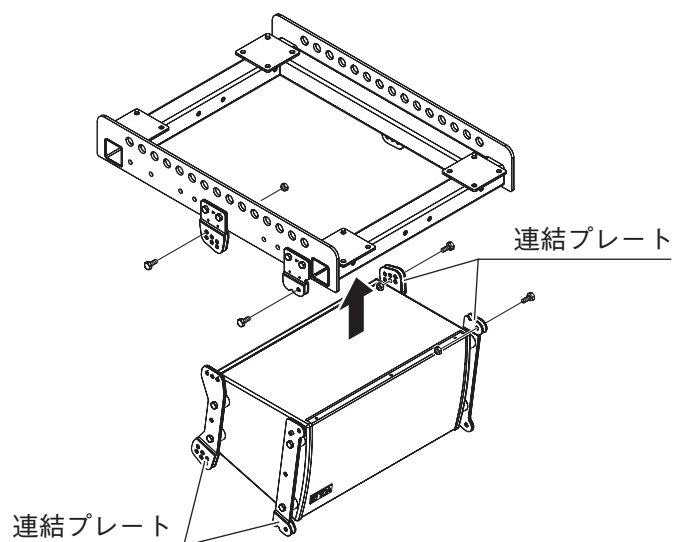
3 リギングフレームとスピーカーの連結

下図を参考にリギングフレームとスピーカーを連結します。

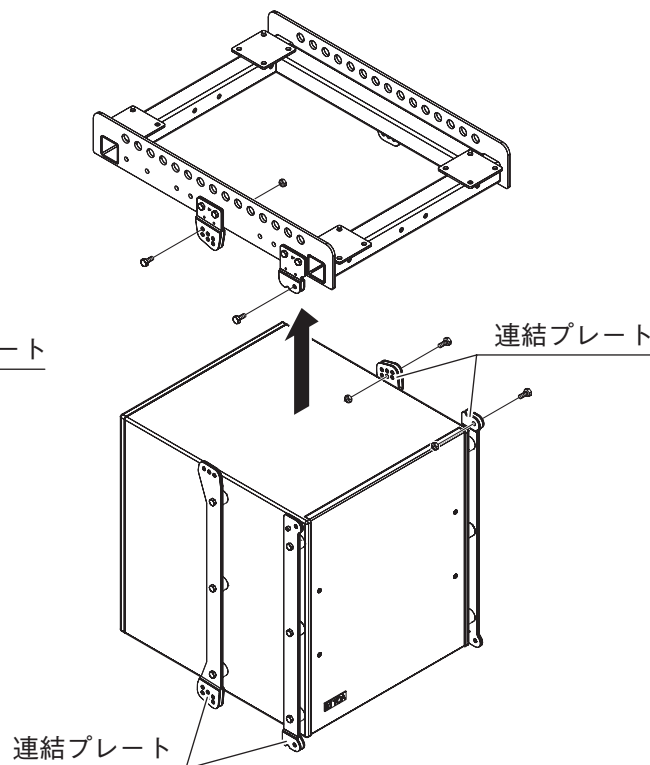
ホーンの位置を確認（SR-C8L/SR-C8Sのみ）しながらスピーカーとリギングフレームを左右それぞれ付属のボルトとナットで確実に連結してください。

サブウーハー SR-C15B を吊り下げる場合は、サブウーハーが一番上（リギングフレームのすぐ下側）に来るように取り付けてください。

[ハイボックス組み立て図]



[サブウーハー組み立て図]

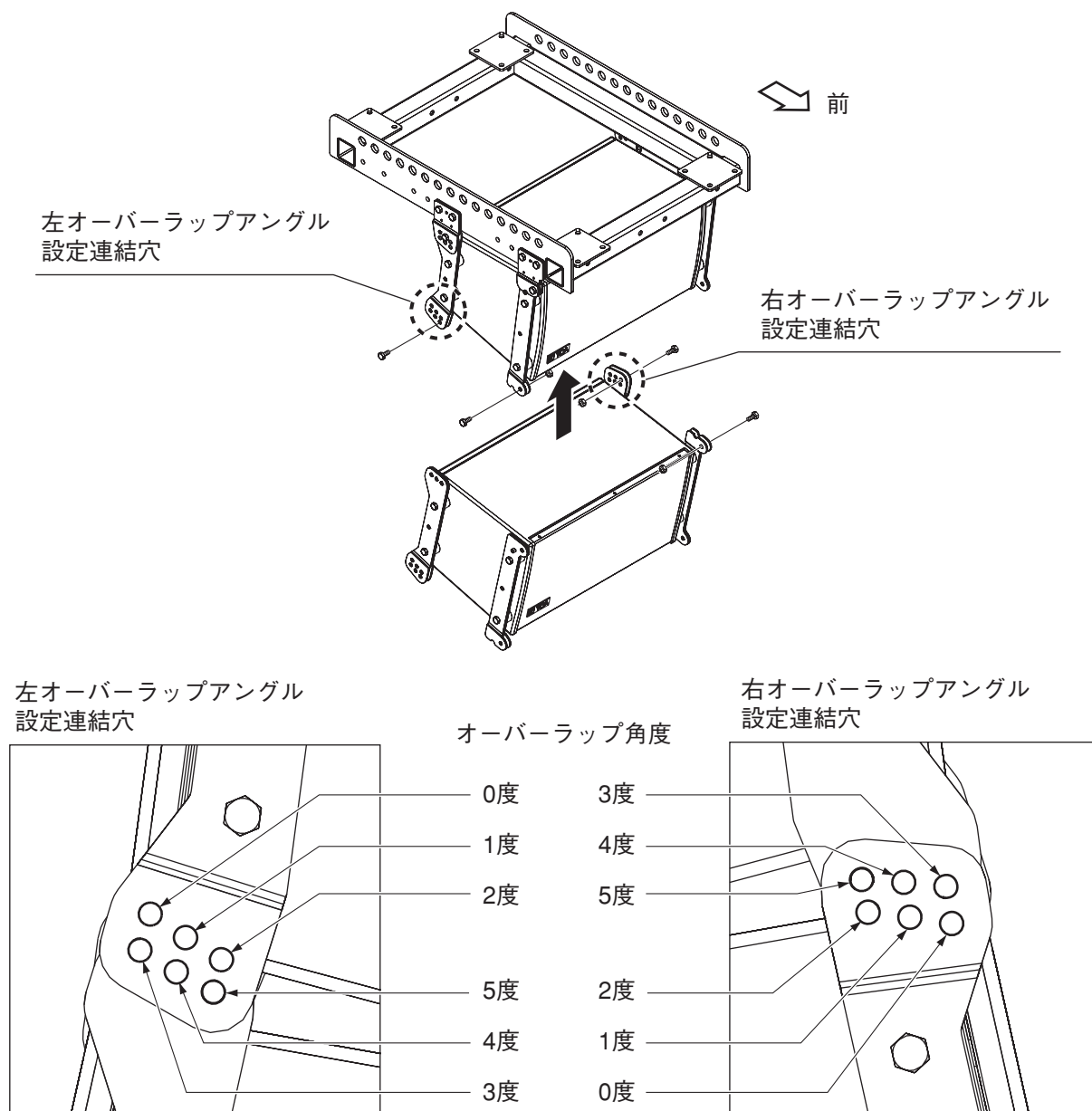


4 スピーカー間の連結

下図を参考にスピーカー間を連結します。

左右それぞれ付属のボルトとナットで確実に連結してください。

スピーカー後部側にはオーバーラップアングルを設定する連結穴がありますので、必要なオーバーラップアングルに合った連結穴を使って連結します。オーバーラップアングルは0度から5度まで1度間隔で設定が可能です。

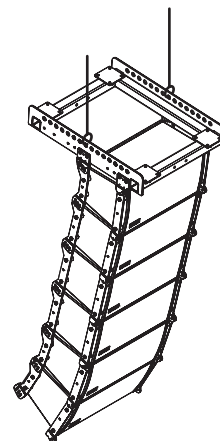


5 フライイングについて

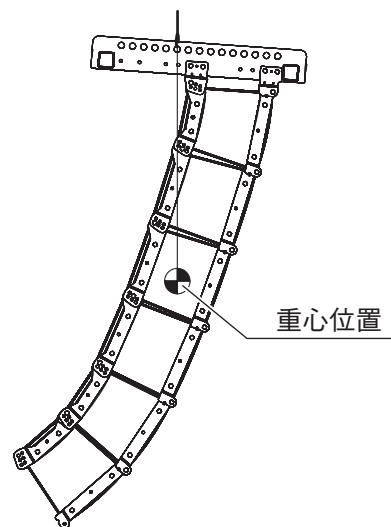
ご注意

- 吊り下げに使用するワイヤー・シャックル類は付属していません。十分な強度を確保したものを使用してください。
また吊り元も十分な強度を確保してください。
- リギングフレーム1台あたりラインアレイスピーカー 12台までの連結が可能です。サブウーハー SR-C15B は2台として計算します。合計台数で12台を超えて連結はできません。

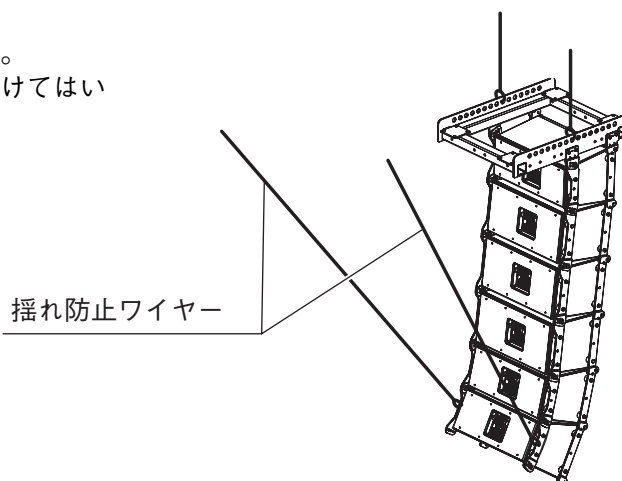
- 最低左右の2点で鉛直にフライイングします。



- 希望する下向き角度が実現できる吊り点を使用してください。
吊り点を後方に移動するほど下向きになります。



- 必要に応じて揺れ防止のワイヤーを追加してください。
ただし、揺れ防止のワイヤーにスピーカーの自重を掛けてはいけません。



クラスター金具 SR-CL8 を使用したフライング設置

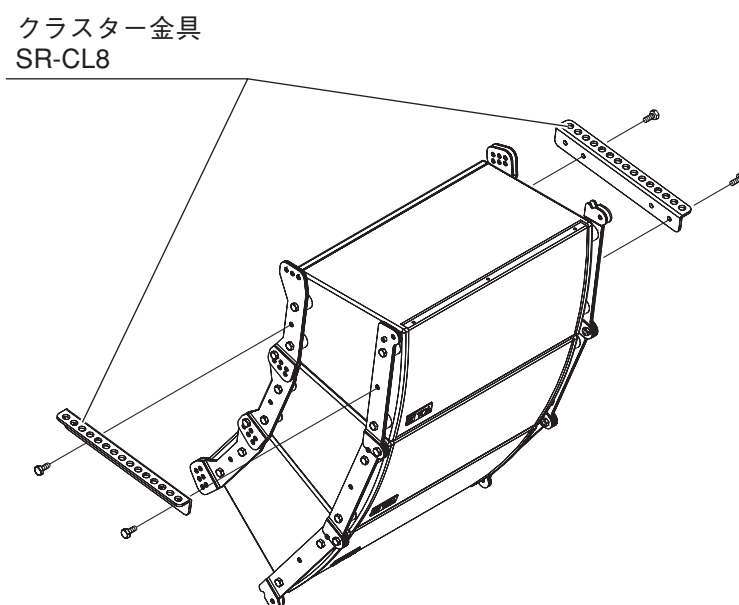
1 フライングシステム概要

クラスター金具 SR-CL8 を使用したフライングシステムです。
このクラスター金具を使って縦方向にフライング設置する場合は最大4台まで連結可能です。
横方向にフライング設置する場合も最大4台まで連結可能です。
但し、このクラスター金具ではサブウーハーは設置できません。

2 垂直方向にフライングする場合

2-1 クラスター金具の連結

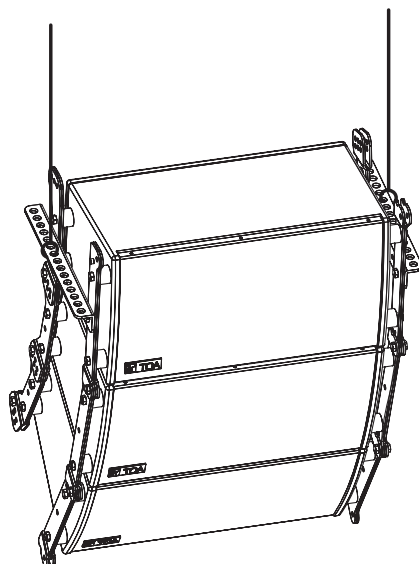
下図を参考にクラスター金具を連結します。付属のボルト（平座金、ばね座金を含む）とナットで確実に固定してください。



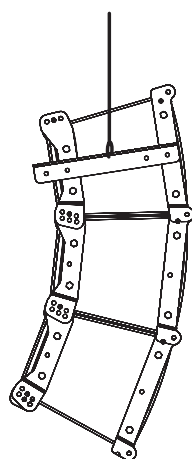
2-2 垂直方向へのフライング

ご注意

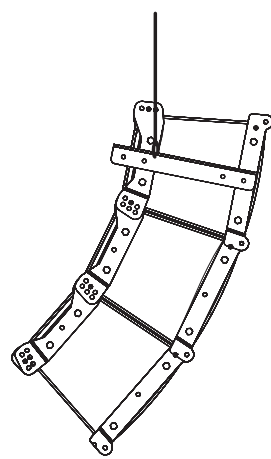
- 吊り下げに使用するワイヤー・シャックル類は付属していません。十分な強度を確保したものを使用してください。
また吊り元も十分な強度を確保してください。
 - このクラスター金具を使ってフライングする場合は最大4台まで連結可能です。
- 左右の2点で鉛直にフライングします。



- 希望する下向き角度が実現できる吊り点を使用してください。
吊り点を後方に移動するほど下向きになります。



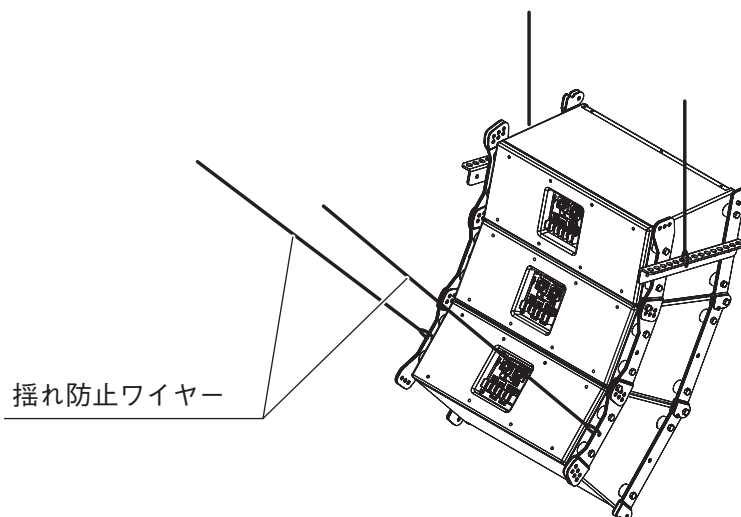
前方取り付け時



後方取り付け時



- 必要に応じて揺れ防止のワイヤーを追加してください。
ただし、揺れ防止のワイヤーにスピーカーの自重を掛けてはいけません。



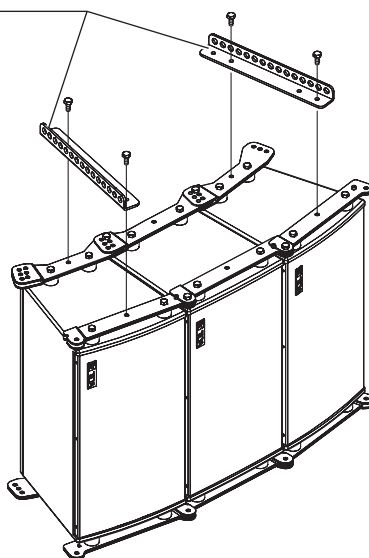
3 水平方向にフライングする場合

3-1 クラスター金具の連結

下図を参考にクラスター金具を連結します。付属のボルト（平座金、バネ座金を含む）とナットで確実に固定してください。

連結スピーカーの両端にクラスター金具を取り付けてください。

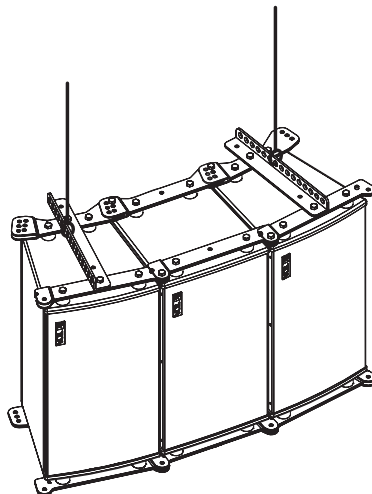
クラスター金具
SR-CL8



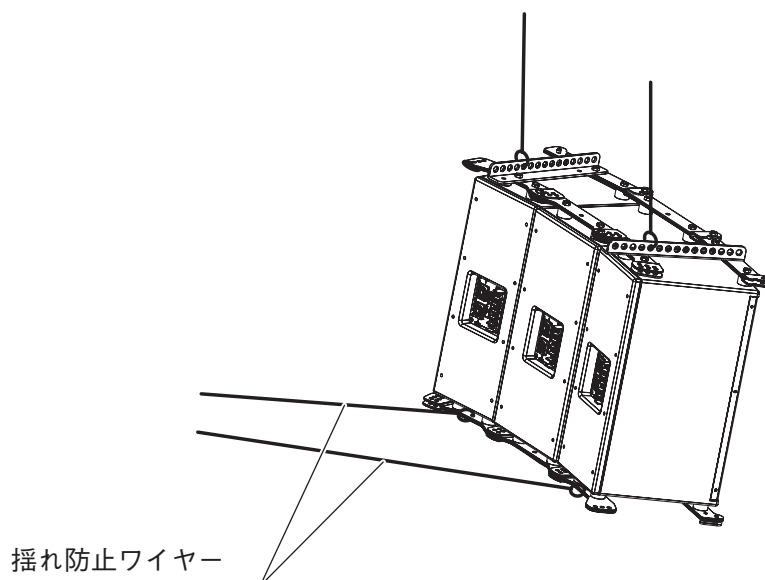
3-2 水平方向へのフライング

ご注意

- 吊り下げに使用するワイヤー・シャックル類は付属していません。十分な強度を確保したものを使用してください。
また吊り元も十分な強度を確保してください。
 - このクラスター金具を使ってフライングする場合は最大4台まで連結可能です。
- 少なくとも左右の2点で鉛直にフライングします。



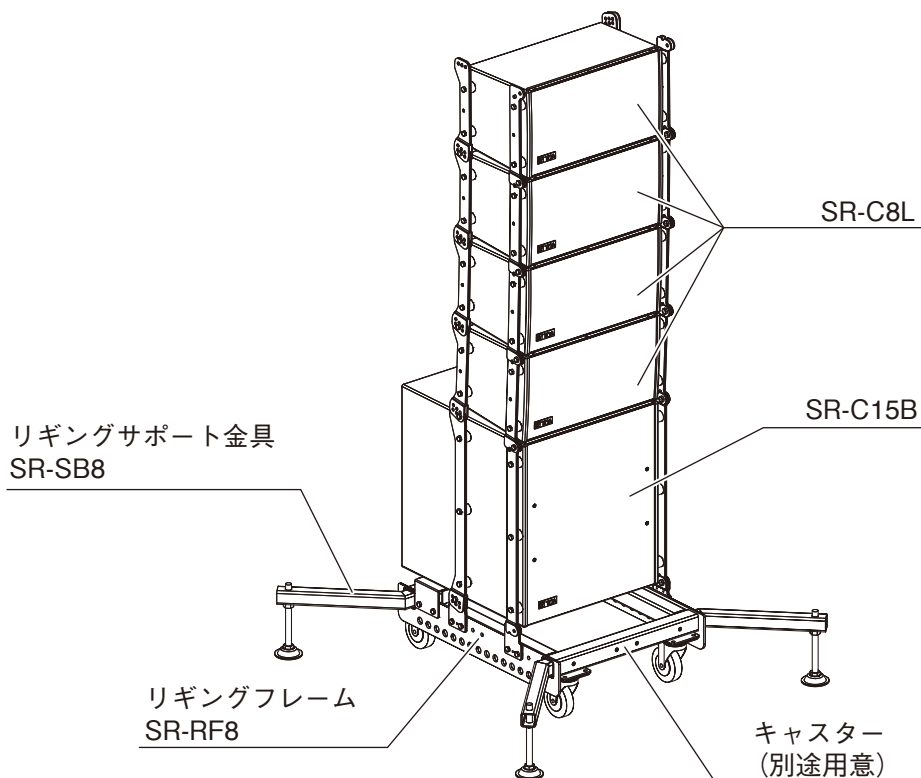
- 希望する下向き角度が実現できる吊り点を使用してください。
吊り点を後方に移動するほど下向きになります。
- 必要に応じて揺れ防止のワイヤーを追加してください。
ただし、揺れ防止のワイヤーにスピーカーの自重を掛けてはいけません。



スタッキングのしかた

1 スタッキングシステム概要

リギングフレーム SR-RF8 を使用してラインアレイスピーカーのスタッキングが可能です。
ラインアレイスピーカーは1台、サブウーハー SR-C15B は2台分として計算し最大8台までスタッキングできます。基本的なスタッキングシステムを下記に示します。なお別途キャスターをご用意頂く必要があります。



リギングフレームの足として下記仕様のキャスターを取り付けてください。
キャスター及びキャスター取付ボルトは別途ご用意ください。

[キャスター仕様]

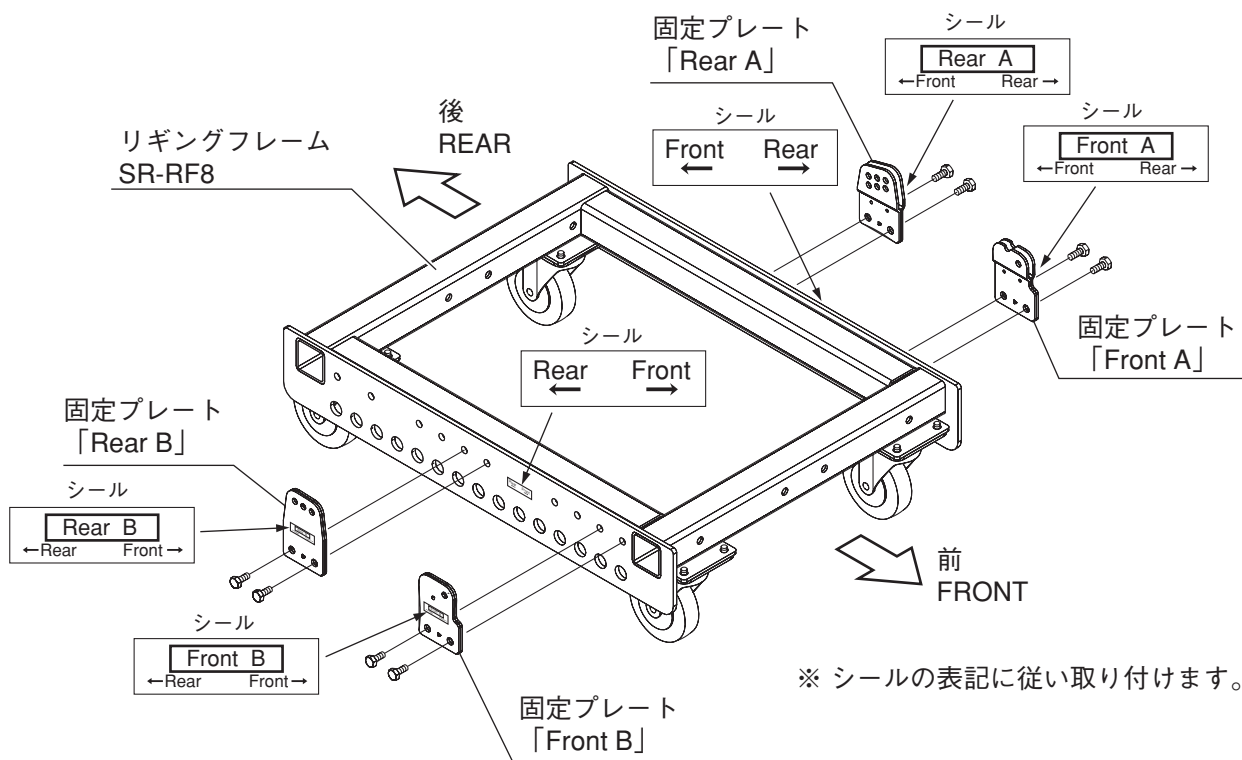
車輪径	: 100 mm 以上
取付ピッチ	: 71 mm × 71 mm
取付ボルト (径)	: M10
取付プレート部寸法	: 95 mm × 95 mm
耐荷重	: キャスター 1 個あたり、総重量(リギングフレーム重量+スピーカー重量) × 50%以上
ストッパー付	
推奨品	: イノアック車輪製 P-100WJS

2 リギングフレーム SR-RF8の組み立て

あらかじめ、スタッキングした状態のシステムの重心を考慮し固定プレートの取付位置を前方もしくは中央に決めて組み立てます。

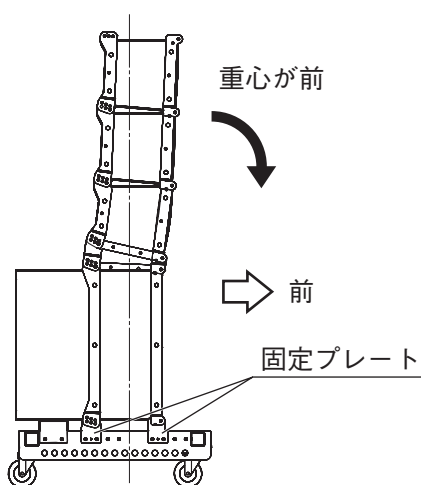
固定プレートはそれぞれ付属のボルト（平座金、ばね座金を含む）で確実に固定してください。

固定プレートには設置位置・設置方向があるので、図を参考に組み立ててください。



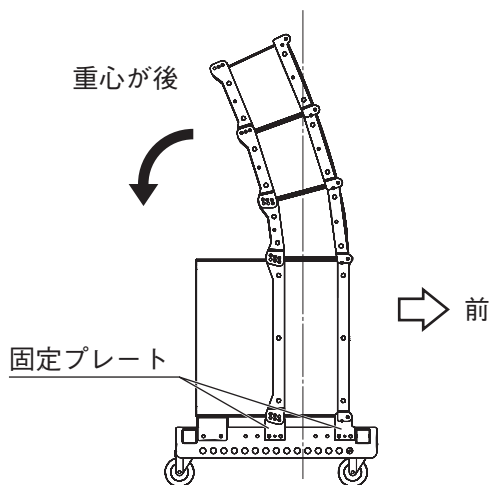
[固定プレートを中央に取り付ける場合]

重心が前になる場合は中央に取り付けます



[固定プレートを前方に取り付ける場合]

重心が後になる場合は前に取り付けます



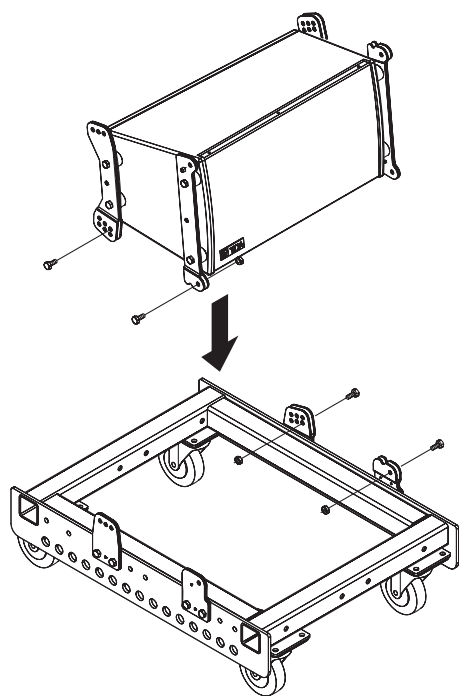
3 リギングフレームとスピーカーの連結

図を参考にリギングフレームとスピーカーを連結します。

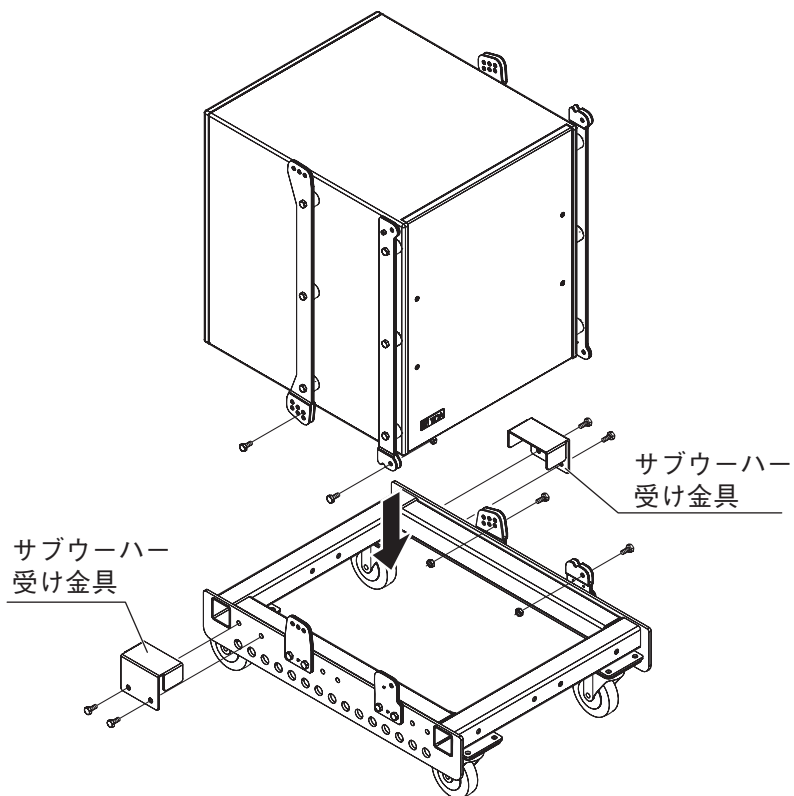
スピーカーとリギングフレームを左右それぞれ付属のボルトとナットで確実に連結してください。

サブウーハー SR-C15B をスタッキングする場合は、サブウーハーが一番下（リギングフレームのすぐ上側）に来るように取り付けてください。その場合、図のように付属のサブウーハー受け金具をリギングフレームに取り付けてください。

[ハイボックス組み立て図]



[サブウーハー組み立て図]



4 スピーカー間の連結

「リギングフレーム SR-RF8 を使用したフライング設置」の「4 スピーカー間の連結」を参照してください。（P. 18）

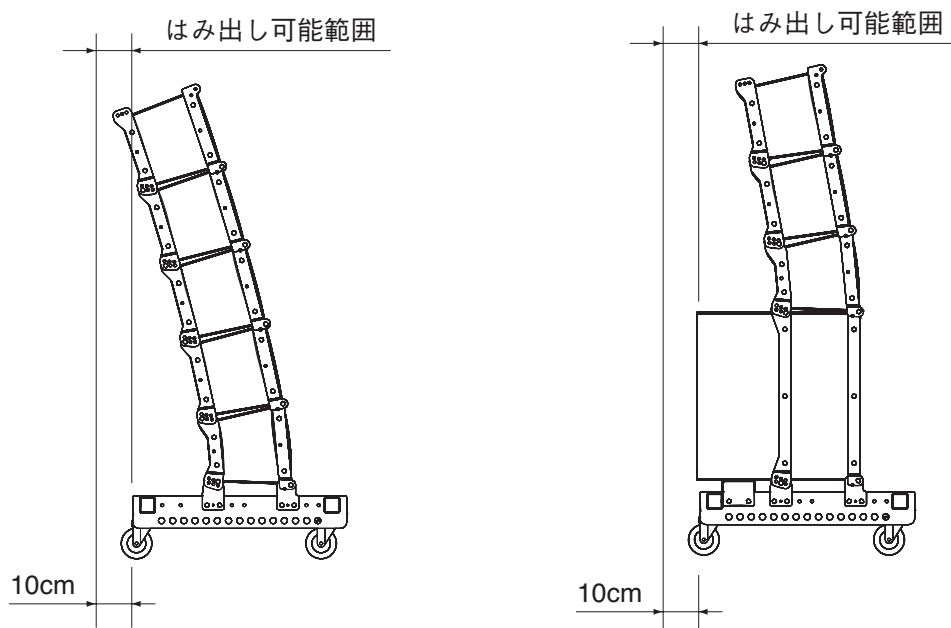
5 スタッキングについて

- リギングフレームの足として別途キャスター及びキャスター取付ボルトを用意してください。
- スタッキングをした場合、ラインアレイスピーカーのリギングフレームからの前後のはみだしはそれぞれ 10 cm 以内としてください。

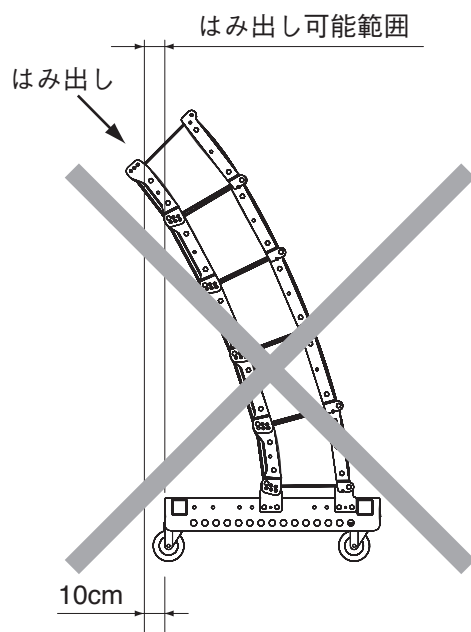
ご注意

- ラインアレイスピーカーを最大 8 台までスタッキングできます。ただし、サブウーハー SR-C15B は 2 台として計算します。合計台数で 8 台を超えてスタッキングはできません。
- スピーカーを 6 台以上スタッキングする場合は、転倒防止の為必ずリギングサポート金具 SR-SB8 を使用してください。サブウーハー SR-C15B は 2 台として計算してください。

[代表的なスタッキング例]



[禁止のスタッキング例]



リギングサポート金具 SR-SB8 を使用する場合

ラインアレイスピーカー SR-C8 シリーズをスタッキングして使用する場合、転倒防止の為に使用する金具です。

SR-C8 シリーズのスピーカーを6台以上スタッキングする場合は必ず使用してください。

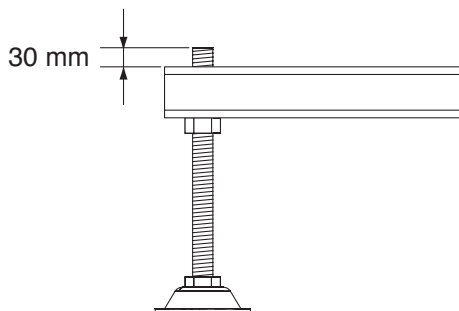
サブウーハー SR-C15B は2台として計算してください。

1 レベルアジャスターの取り付け

下図を参考に付属のレベルアジャスターを取り付けます。

レベルアジャスターの先端が、パイプ部より 30mm くらい出るまで調整してください。

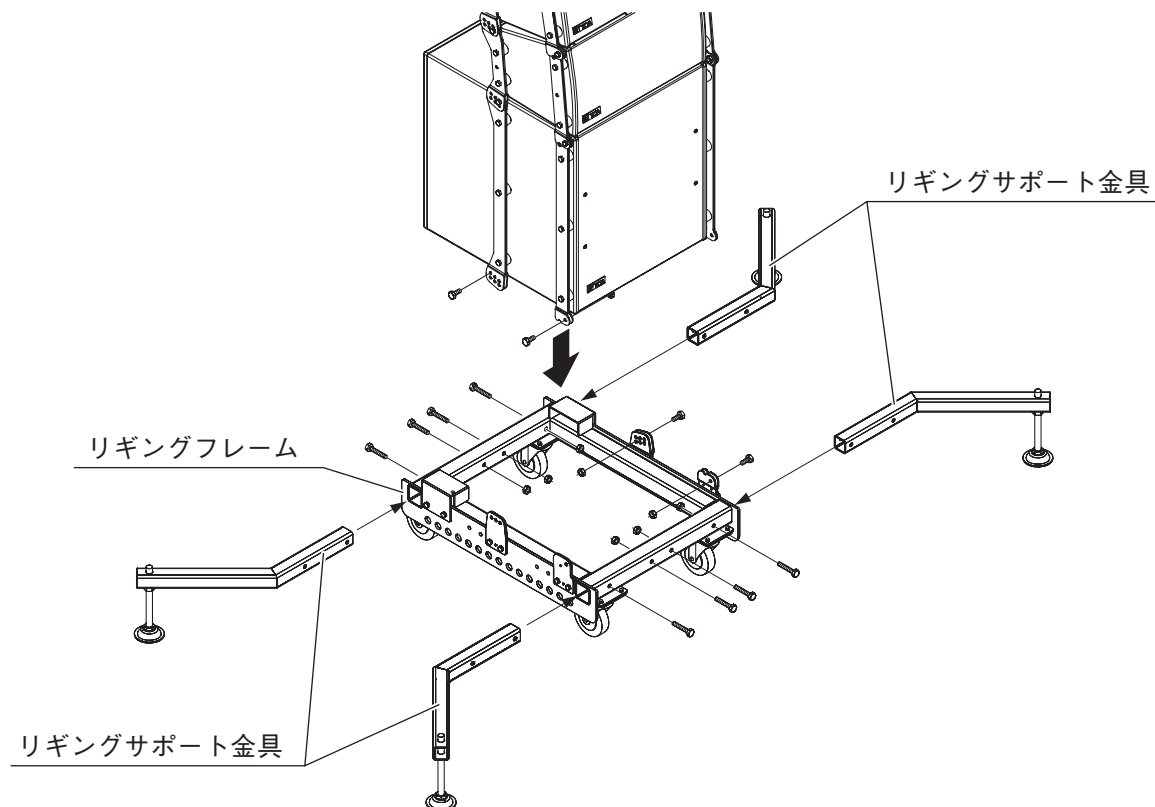
ナット側からレベルアジャスターを回しながら取り付けます。



2 リギングサポート金具の設置

下図を参考にリギングサポート金具をリギングフレームに取り付けます。

付属のボルトとナットを使い確実に固定してください。

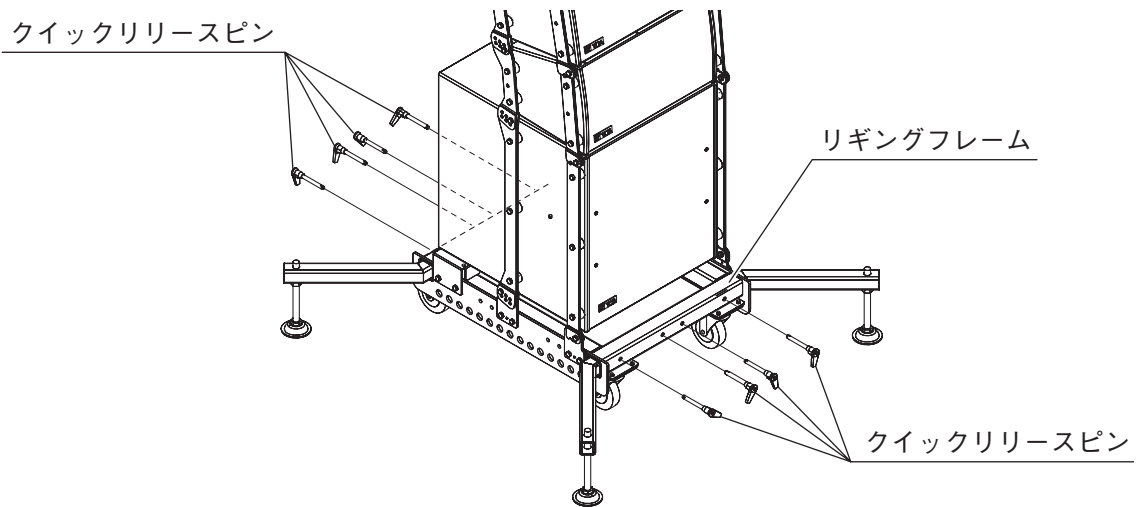


2-1 サポート金具をリギングフレームに差し込みます。

2-2 付属のボルトを使って固定します。

3 リギングサポート金具を頻繁に着脱したい場合

リギングサポート金具を頻繁に着脱したい場合には、クイックリリースピンが便利です。



ご注意

- クイックリリースピンは付属されていません。
- 必要に応じて、直径3/8インチ 長さ2.5インチ のクイックリリースピンをご用意ください。

4 がたつかないようにレベルアジャスターで調整する

スピーカーの設置場所が決まったら、がたつかなくなるまでレベルアジャスターを調整してください。
がたつきがあると転倒などの原因となりますので、しっかりと固定してください。

ご注意

- 危険防止の為、不特定の人がスピーカーに近づいたり、寄りかかったりしないように注意してください。
- ラインアレイスピーカーを最大8台までスタッキングできます。ただし、サブウーハー SR-C15B は2台として計算します。
合計台数で8台を超えてスタッキングはできません。

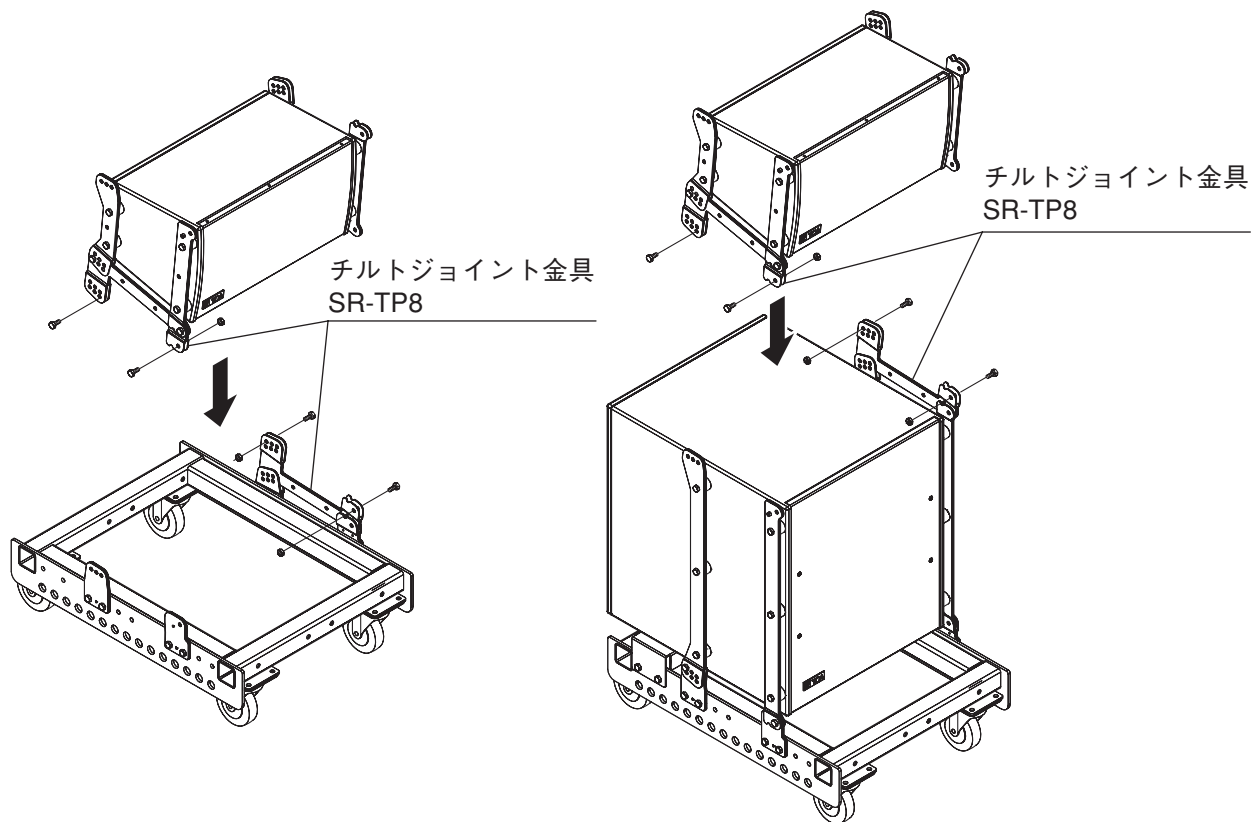
スピーカーを下振りする場合

別売のチルトジョイント金具 SR-TP8 を使用することで最下段のラインアレイスピーカー（サブウーハーを除く）を更に5度～15度下振りすることができます。

下図を参考に取り付けてください。

[リギングフレームへの組み立て図]

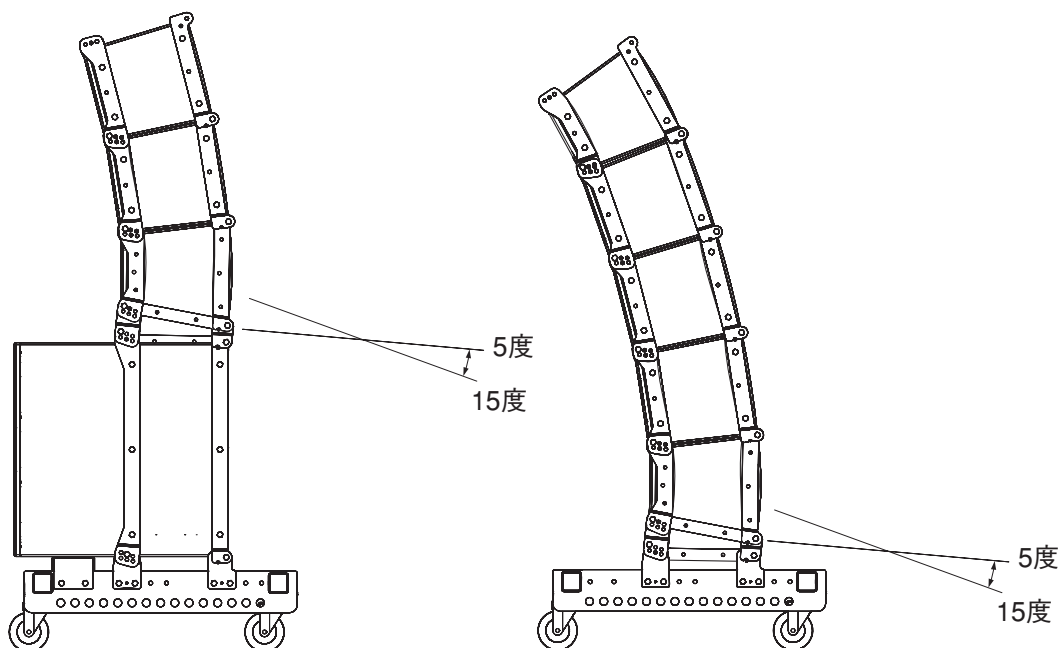
[サブウーハーへの組み立て図]



● チルトジョイント金具を使用した代表的なスタッキング例

[SR-C15B × 1、SR-C8S × 1、SR-C8L × 3]

[SR-C8S × 1、SR-C8L × 4]



ご注意

- チルトジョイント金具は、ラインアレイスピーカー（サブウーハーを除く）同士の連結、サブウーハーとリギングフレームとの連結、及びフライングシステムでの使用はしないでください。

仕 様

この取扱説明書に記載されている各製品の仕様については、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) で公開しています。

タブレット端末やスマートフォンなどでブラウザを起動してURLを入力するか、右のQRコードを読み取ってください。表示された画面で品番を入力し、検索してください。



※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

● 付属品と別売品

品番	付属品	別売品
SR-C8L SR-C8S	連結用ボルト (M8) 4	クラスター金具 : SR-CL8 リギングフレーム : SR-RF8 チルトジョイント金具 : SR-TP8 デジタルスピーカークロセッサ : DP-SP3
SR-C15B		リギングフレーム : SR-RF8 デジタルスピーカークロセッサ : DP-SP3
SR-RF8	固定プレート 4 プレート取付ボルト (M10) 12 サブウーハー受け金具 2	リギングサポート金具 : SR-SB8 (6 台以上スタッキングする場合は必ず使用してください。)
SR-SB8	—	—
SR-TP8	—	—
SR-CL8	連結用ボルト (M10) 4	—

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用）	
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）	0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-01-00148-03